

平成18年度 広域連携等産地競争力強化支援事業評価結果一覧表

地域共通課題解決型事業

※については目標未達成等の事業についてのみ記載した。

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	取組名	事業実施年度	対象作物・施設名	成果目標の達成状況					費用対効果		生産局長等の意見(※)	備考
						具体的成果目標	現状 (計画時点)	目標 (平成20年度)	実績 (平成20年度)	達成率	事前評価	事後評価		
北海道	深川市	きたそらち農業協同組合	競争力強化生産総合タ	平成18年度	水稻 穀類乾燥調整施設	品質分析(米の食味値等)の実施生産者の割合が100%	7%	100%	41.20%	36.8% ※施設の稼働率は150%超であり、受益面積を基準値に設定した場合は達成率は150%超。なお、H21に自費にて整備済みであり受益戸数を基準値とした場合でも100%となる見込	1.51	2.44	当初は、GEの整備と合わせて、既存の玄米バラ集出荷施設においても自費で品質分析器を導入することとしていたため、同地区の受益戸数を成果目標の基準値として設定することを妥当と判断したものの、自費で整備を行う上で、資金調達や実際のシステム導入等において若干の遅れが見られたため未達成。 このような不測の事態が起こったところではあるが、今年度中に、同地区の既存の玄米バラ集出荷施設において、自費での品質分析器の導入が完了したことから、JAの出荷契約者から成果目標の達成度合いを評価すると、目標達成。 なお、成果目標を、施設能力から割り返した受益面積で設定した場合は、その達成率が150%を超え、費用対効果の値も大きく、実需者からのニーズに対応した品質管理を行っており、総合的に大きな効果があつたものと判断。	
北海道	別海町	(財)北海道農業開発公社	競争力強化生産総合タイプ	平成18年度	乳用牛 搾乳関連排水処理施設1式	搾乳関連排水に係る処理コストの削減82%	9,096千円	1,600千円	1,730千円	98.3%	1.70	1.91	共同処理する排水の収集費用が運搬車燃料代の高騰や収集方法の見直しにより計画に比べて高くなったため未達成。 今後は施設の維持管理の一部を業者への委託からはずし、処理組合自ら実施することで経費を削減し目標を達成。	
北海道	鶴居村	(財)北海道農業開発公社	競争力強化生産総合タイプ	平成18年度	乳用牛 搾乳関連排水処理施設1式	搾乳関連排水に係る処理コストの削減82%	9,432千円	1,800千円	1,468千円	104.4%	1.76	2.69		
北海道	大樹町	(財)北海道農業開発公社	競争力強化生産総合タイプ	平成18年度	乳用牛 搾乳関連排水処理施設1式	搾乳関連排水に係る処理コストの削減82%	22,896千円	4,160千円	3,284千円	105.2%	3.31	3.99		

地域共通課題解決型事業

※については目標未達成等の事業についてのみ記載した。

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	取組名	事業実施年度	対象作物・施設名	成果目標の達成状況					費用対効果		生産局長等の意見(※)	備考
						具体的成果目標	現状 (計画時点)	目標 (平成20年度)	実績 (平成20年度)	達成率	事前評価	事後評価		
宮崎県	野尻町	宮崎県経済農業協同組合連合会	競争力強化生産総合タイプ	平成18年度	豚 種豚・交配舎4棟 分娩育成舎5棟 肥育舎8棟 堆肥舎等12棟	子豚1頭を生産するために要する労働時間の肉豚1頭当たりの生産費	1.24時間/頭 29,566円/頭	1.06時間/頭 (21年度目標) 26,000円/頭 (21年度目標)	0.81時間/頭 32,232円/頭	238.0% △75.0%	1.57	0.72 (1.46)	・成果目標の達成については、本事業により分娩兼用豚舎を施設整備したことにより子豚の移動が不要となり労働時間の削減により目標が達成されたが、生産費の縮減については、事業計画時に予測できなかった配合飼料価格の高騰による生産コストの増大等により目標の達成に至らなかった。今後は、成果目標の達成に向け生産コストの削減を図っていくことが必要。	・費用対効果については、繁殖雌豚の導入が当初計画より遅れたことから肉豚の出荷頭数の減少に伴い収入が減少したことや配合飼料価格の高騰により生産コストの増大が要因となり0.72となった。 繁殖雌豚の導入が概ね計画どおりに進んでいることから、今後は、肉豚の出荷頭数の増加により収入の改善が期待されている。 また、生産コストの削減については、飼料コストの縮減を図るため、配合飼料の給与方法の見直しによる飼料使用量の適正化・ロスの低減、低コスト飼料の活用に取り組むことが必要。 ・なお、飼料価格の高騰の影響を除いた場合の費用対効果は1.46となる。
宮崎県	都城市	都城農業協同組合	競争力強化生産総合タイプ	平成18年度	肉用牛 サンシャイン牛舎11棟 堆肥舎等3棟	子牛1頭当たりの生産費削減	459,570円/頭	403,014円/頭 (21年度目標)	471,311円/頭	△20.7%	1.54	0.92 (1.84)	・成果目標の達成については、業計画時に予測できなかった配合飼料価格の高騰による生産コストの増大等により目標の達成に至らなかった。今後は、成果目標の達成に向け生産コストの削減を図っていくことが必要。	・費用対効果については、配合飼料価格の高騰による生産コストの増大や経営収支の悪化による繁殖雌牛の導入が遅れたことによる収入の減少が要因となり0.92となった。 繁殖雌牛の導入が改善されていることから、今後は、さらに本事業で整備した発情発見システムの活用により分娩間隔の短縮し、子牛生産の増加が図られ収入の増加が期待されている。 また、生産コストの削減については、本事業の施設整備による飼養管理の省力化により削減された労働時間の一部を自給飼料生産に充てることにより生産コストの削減が期待されている。 ・なお、飼料価格の高騰の影響を除いた場合の費用対効果は1.84となる。

地域共通課題解決型事業

※については目標未達成等の事業についてのみ記載した。

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	取組名	事業実施年度	対象作物・施設名	成果目標の達成状況					費用対効果		生産局長等の意見(※)	備考
						具体的成果目標	現状 (計画時点)	目標 (平成20年度)	実績 (平成20年度)	達成率	事前評価	事後評価		
鹿児島県	大崎町	そお元気ファーム	競争力強化生産総合タイプ	平成18年度	豚 妊娠舎1棟 分娩舎1棟 離乳舎等8棟 肥育豚舎5棟 堆肥舎等2棟	労働時間10%削減(肉豚生産1頭当たり労働時間)	1.19h/頭	0.84h/頭 (21年度目標)	0.92h/頭	77.1%	1.19	0.10 (0.16)	・成果目標については、ウィルス性疾病の進入により、子豚の生産頭数及び肉豚出荷頭数が減少し、目標達成にいらなかった。 今後は徹底した衛生管理による生産の安定化を図っていくことが必要。	・費用対効果については、ウィルス性疾病(PRRS、サーコウイルス)の進入により19年12月～20年7月まで豚の導入を中止したことによる子豚の生産頭数の減少等により肉豚出荷頭数等が減少したこと、衛生費が増加したこと、さらに配合飼料価格の高騰により生産コストが増大したことにより0.10となった。 20年8月からは肉豚の導入を再開したところであり、今後、コンサル獣医による衛生管理の指導等により、ウィルス疾病が改善され繁殖雌豚の導入が計画的に行われていることや子豚の死亡事故が改善され安定した生産により、収入の増加が期待される。 ・なお、飼料価格の高騰の影響を除いた場合の費用対効果は0.16となる。